

大空に

輪島市立東陽中学校(第4号)

令和7年6月24日(火)

校訓「自主」「忍耐」「友愛」「健康」

ホームページにもアップしています⇒



「全能登大会」での生徒の姿を通して

夏を思わせるような厳しい暑さ。かと思えば、一変して、黒雲の立ち込める空から、激しい雨…。天候が心配される中、先日、6月21日(土)・22日(日)には、各地で「全能登大会」が開催され、本校からも野球部(柳田中との合同チームで参加)、男女ソフトテニス部が出場しました。

激励会では、「試合では『勝敗』が決まるけれど、これまで練習してきたことを全て出し切って、たとえ負けたとしても、次(日常生活や学校生活)につなげてほしい。」という言葉を選手にかけました。

当日は、精一杯、力を発揮する選手の姿がありました。中でも、女子ソフトテニス部は、県大会出場! 枠をかけた敗者戦に臨み、粘り強くプレーし、4試合連続勝利しました。応援しながら、「試合中に、選手はどんな心持ちでプレーしているのだろう。」と思いました。野球もテニスも、チームやペアでプレーしています。好プレーが出ることもありますが、逆に、自分がミスをしたり、チームやペアを組んだ仲間がミスしたりする時もあります。そんな時、どんな心持ちで、「自分たちの本来の力が発揮」できるように試合をしていくのか、気になったのです。

翌日、3年生に訊いてみました。ミスをした時は、「考えないようにして、切り替える」「チームが暗くならないように励ます言葉をかける」「ここで終わると思わず、「1球だけに集中」するとのことでした。また、良いプレーが出た時は、「楽しい」「嬉しい」「これがずっと続けばいいな」と思いながらプレーしているとのことでした。敗者戦を4試合勝ち抜いた女子ソフトテニス部の3年生は、試合後、大会本部の先生方に「よかったです。」と声をかけて初めて、結果を実感したそうです。

今年度初の「ふるさと魅力発見講座」の冒頭で、講師の先生から「和敬清寂(わけいせいじゃく)」という茶道の言葉について、お話をうかがいました。

「和」とは、お互いに心を開いて仲良くするということ

「敬」とは、尊敬の敬で、お互いに敬いあうという意味

「清」とは、清らかという意味ですが、

目に見えるだけの清らかさではなく、心の中も清らかであるということ

「寂」とは、どんなときにも動じない心



「全能登大会」での生徒の姿から、「和敬清寂」という言葉が重なって見えたような気がしました。

この後も、むし暑い日々が続くと思います。皆様どうぞ自愛ください。そして、今後とも本校教育活動に変わらぬご理解・ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

校長 柿本 二美代

避難訓練《地震・火災》

6月20日(金)の6限目には、地震(震度5強)発生の後、火災が発生したという想定で、避難訓練を行いました。このような状況の時には、「命を守る行動が最優先」と、参加した全員が真剣に訓練に取り組みました。訓練の様子を、輪島消防署町野分署の方にも見ていただき、火や煙から身を守り、安全に避難するためのアドバイスもいただきました。その後、消火器の使い方も全校で確認することができました。

これからも、訓練を通して、どんな状況にあっても、自分で自分の身を守ることができるよう力を付けていきましょう。

消防署の皆様、ご協力いただきありがとうございました。



振り返り (略)緊張感をもって臨むことができた。今日は先生の指示に従っての訓練だったけど、どこで起きたてもおかしくない災害なので訓練したことを忘れないようにしたい。日々の積み重ねが自分や人の命を助けるのだと改めて実感した。パニックにならず、冷静になることで的確な判断ができると思った。
【3年】

7月の行事予定

- 1日(火)～3日(木) 3年修学旅行(関西方面)
- 6日(日) 英検①2次
- 7日(月) 球技大会
- 8日(火) シェイクアウトいしかわ/出張ラボ
- 11日(金) 中学生の主張発表大会 輪島大会
(14:00～輪島消防署)
- 15日(火) 安全点検/薬物乱用防止教室
- 18日(金) 1学期終業式/通知表渡し
(13:30～町野小2F各教室で)



8月の行事予定

- 1日(金) 全校登校日①
- 4日(月) 1・2年サイエンスチャレンジ(中能登中)
- 5日(火)～7日(木) 2年生JFA×文京
(東京での活動)
- 10日(日) ふるさと五千人の祭典
- 18日(月) 安全点検
- 21日(木) 漢検①
- 25日(月) 全校登校日②



*学校閉庁は12日(火)～15日(金)です。

ふるさと魅力発見講座①

和菓子作り体験教室

講師：行松旭 松堂社長：行松 宏展 氏

6月17日（火）、今年も小松市の老舗和菓子店社長 行松宏展さんにご来校いただき、「ふるさと魅力発見講座（和菓子作り体験教室）」を行いました。

昨年度、「学校に行きますよ！」と力強くおっしゃっていただき、季節ごとに和菓子作りを通して、子どもたちに元気を届けてくださった行松さん。行松さんの教室は今回で4回目となります。子どもたちは行松さんにおうかがいしたいことがたくさんあるようでした。そこで、事前に質問内容をお伝えしたところ、当日、活動前に一つ一つの質問にとても丁寧にお答えいただきました。

「失敗はたくさんすればいいよ。新しいことにチャレンジするから、失敗するんや。失敗してもあきらめないで、何度もやって、できるようになればいい！」と、ご自身の体験もまじえながらお話をいただきました。

振り返り 今日は、いろんな質問にも答えてもらって、和菓子を作る時の大変なことやお客様に言われて嬉しいことなど、たくさんることを知ることができたのでよかったです。4回目だったけど、まだ難しかったし、初めて錦玉を使ってみて、切るのも並べるのも大変でした。5回目は「栗きんとん」を作ると聞いたけど、一番大変で失敗したと行松さんがおっしゃっていたので、頑張ろうと思いました。 【3年】

振り返り 行松さんが（略）、「失敗してもいい。」とおっしゃっていて、私も失敗をしても落ち込まずに、チャンスだと考えようと思いました。和菓子の材料は手に入りにくくなつたという事を聞いて、和菓子はこんなにも貴重なのだと驚いたし、次に食べる時はもっと大切に食べようと思いました。

和菓子作り体験では、ゼリーみたいに透き通っているものを初めて使いました。今まで、あんこを使っていたので、こんな和菓子もあるのだなと新しい発見をする事ができました。和菓子作りは難しいけれど、きれいな紫陽花ができた時はとても嬉しかったです。 【2年】



振り返り 今回の和菓子作りは1回目で、とてもむずかしかったです。今回は、アジサイの和菓子を作る前に、（略）「ミスをしたら自分のためになる」みたいなことを聞いて、ぼくもたくさんチャレンジをして、いっぱいミスをして上手になりたいと思いました。ミスをたくさんすればいいというのが、とても前向きになりました。今回の和菓子作り「超×1万分」、楽しかったです。理由は、授業で初めてこのようなことをしたからです。
本当に本当にありがとうございました。 【1年】

振り返り 今回は（略）サイコロの形に切るのが難しかつたけれども、何回も作っていくと、だんだんと慣れてきて楽しかったです。今回で4回目だけれども、今までの中で一番難しいと思いました。最初のお話では、30年も和菓子を作り続けていてすごいなと思いました。今回も本当にありがとうございました。次は、また難しそうな和菓子がきそうでちょっと怖いけど、次も頑張りたいです。 【3年】

振り返り 今年度初の「ふるさと魅力発見講座（和菓子作り体験）」。人生で4回目の行松さんとの授業で、今回は、「紫陽花」の和菓子を作りました。前とちがって寒天のゼリーのようなものを新しく使ったので、とても難しかったです。そして、和菓子を作る前に、僕達からの質問に答えてもらって、とてもいいお話を聞くことができてよかったです。（略）これからもドンドン、チャレンジしてドンドン失敗していきたいと思います。ありがとうございました。 【2年】

和菓子作り体験の後、季節のお菓子「水無月（みなづき）」と一緒に薄茶一服ちょうどいいしました。このお茶は、昨年、職業人講話でお話をうかがった野村美術館館長・NPO碧雲カフェ理事長の谷 晃様からとのことでした。

行松様、谷様、本当にありがとうございました。

ウォーキングフットボールのイベント（「JFA・キリン ビッグスマイルフィールド」）で6月14日（土）に来校された元サッカー日本代表の永島 昭浩様、中西 永輔様、そして、現日本代表の町野 修斗選手から、サイン入り色紙をいただきました。町野選手からは、さらに、先日のFIFAワールドカップ・アジア最終予選（インドネシア戦）で実際に履いていたスパイクもプレゼントされました。

皆様からのエールをしっかりと受け止め、これからも精一杯、頑張ります！

